

# University of Hawaii at Manoa

# ハワイ大学マノア校

**所在地**  
2500 Campus Road, Honolulu, HI 96822 U.S.A.  
ホームページ: <http://www.manoa.hawaii.edu>

**主な対象学部**  
経済学部・語学留学(英)／専門留学

## 沿革

ハワイ大学マノア校は、1907年に創設され、2年制大学7校、4年制大学3校で構成される州立ハワイ大学群の母体校で、オアフ島ホノルル市にあるハワイで最大規模かつ最も知名度の高い大学。97種の学部専攻、85種の修士専攻、57種の博士専攻プログラムがあるが、言語学、海洋学、遺伝学、天文学などハワイの特徴を生かした学問で世界的にレベルの高い研究で評価されている。

## 特色

ハワイ大学マノア校はホノルル市内近郊の静かな住宅街にあるマノア溪谷に320エーカー(1,294,994㎡)もの広大なキャンパスがある。常夏ハワイの温暖な気候と美しい自然に恵まれ、かつハイレベルな教育を受けられることで、全米で常に「best value (最も価値のある)」大学にランクされている。

HELP (Hawaii English Language Program) はThe Department of Second Language Studies (第二言語教育学部) によって運営されている集中英語プログラムで、言語教育の革新的な研究の実験場として知られている。

- アカデミック英語・スキルを習得。文法強化やTOEFL-ITPテスト対策のような個別のニーズに対応したクラスも用意している。
- サービスマニッシュアップ:(1term=8weeksあたり)最低6時間、地域の活動にボランティア(ホノルルマラソンなど)。
- マノア校の学生たちとも交わりを持つweekly activities:サーフィン、フラダンス、ハイキング、フィールドトリップなど。
- 必要最低限のTOEFLのスコアを取ると、条件つきでHUM(学部)のレギュラークラスをとれる。

## 宿泊

寮またはホームステイ  
(ホームステイ先でのWi-Fiは保障されないが、有線でのインターネット環境は有り)

## 生活

ワイキキビーチやマノア峡谷に近く、大学周辺にはカフェや映画館もそろっているのでアウトドアと都会の両方を満喫できる。交通手段としてバスは便利。ワイキキビーチ、アラモアナショッピングセンターまで10分。キャンパス内、周辺の治安は良い。

## 条件

語学留学: TOEFL (ITP) 400点以上が望ましい。専門科目: TOEFL iBT 68 (ITP520) 点以上。

## 留学時期

2年次もしくは3年次の第2学期から半年間もしくは9ヶ月。



## 留学を終えて

経済学部経済学科 2015年留学 田中 智史

まず家族や先生方、留学に携わってくれた方々全ての人に無事留学を終えることができたことを感謝したいです。留学を通じて今までしたことのない様々な経験をしました。今回の留学が初めての海外だったため、行く前からとても緊張していました。私の最初の現地でのスピーキングは税関だったことを鮮明に覚えています。「目的は?」と日本語で聞かれたため、とっさに日本語で「留学です」と答えてしまったのですが向こうには全く通じず英語で答えなおしました。その後も税関で色々と言われましたが当時はネイティブの英語を聞き取ることができなかったのが聞き流すことしかできませんでした。

日本と海外で違うと感じたことは意見をはっきりと主張するかどうか

です。日本人は謙遜し、何かをするときに譲り合いの精神を持っていて相手の表情や態度で気持ちを汲み取るという固定概念がありますが、実際に海外では自分の意見や主張をはっきりする人がかなり多かったです。その結果、自分の主張や意見、質問を遠慮することなく言えるようになったと思います。ただし、一言補足をするとう海外の人々は気遣いができないということではありません。例えば、スーパーに買い物に行き店に入る前に自分の前にお客さんがいたのですがドアをずっと開けた状態で先に入ってくださいと譲ってくれた人が何人もいました。譲り合いの部分では日本もハワイも変わらないと思います。

私の寮には壁に扇風機こそ付いているもののエアコンは各部屋に設置されてなく、ハワイの夏はとても暑いので8月、9月は暑さで眠れない日も多々ありました。夏から半年間ずっと暑いままだったので日本の秋や冬の気候がとても恋しかったです。はじめの頃に枕やブランケットなどの寝る環境が整っていなかったのもとても困惑していました。携帯電話の契約を

しておらず外でマップを見ることもできない、どうやってバスに乗るのかもわからない、どこで買ったらよいのかもわからなかったのがユニットメイトの人に相談することを決意しました。また、実際に一人暮らしをしてみても親がいつもしてくれていたことに感謝しなければいけないと思いました。家事を全て一人でこなすのは結構大変でした。

プレースメントテストを受け、授業が始まる日はこれからどうなるのかという不安と楽しみという両方の気持ちがありました。8週間を1タームとし、1日4つの授業を受けました。タームが終わる毎に Graduation Luncheon という所謂卒業式のようなイベントを通じてレストランで食事をとりました。最後のタームの Graduation Luncheon で Reading の Student Honors Award を受賞しました。努力の結果が実るのはすごく嬉しいです。

月曜日から木曜日までしか授業がなかったため毎週末色々な過ごし方をすることができました。課題をこなす他に友達と遊んだりアクティビ

ティーに参加したりし、有意義な時間を過ごしました。週末に参加したアクティビティーは主にサービスマニッシュアップで、最も思い出に残っているのはホノルルマラソンのボランティアです。通訳の体験をしたのですが、自分の英語力に自信がないので本当にできるのか不安しかありませんでした。実際やってみると拙い感じではありますが伝えることはできていたと思います。通訳の体験をしただけでなく、現地の学校に通う新しい友達との出会いがありました。ありがたいことにその友達が車を持っていたので毎週の様にドライブに連れていってもらいました。

半年余りという時間は長いようで実際に行ってみるとあっという間でした。楽しいことばかりではなく、時には辛いことや悲しいこともありました。が留学に行き本当によかったと思うし、英語力だけでなく人間的に成長することができたと思います。将来のことを考えるいい機会になり、この経験が無駄にならないように今後の人生に役立てていきたいです。